

都市再生整備計画 事後評価シート
新那加駅周辺地区

令和3年2月

岐阜県各務原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	各務原市		地区名	新那加駅周辺地区			面積	41.5			
交付期間	平成27年度～令和元年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	235	国费率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
			基幹事業	高質空間形成施設(ブロック舗装)(市道那468号線)、高質空間形成施設(カラー舗装)(市道那472号線)、高質空間形成施設(歩行支援)(エレベーター設置、トイレ設置)										
	当初計画から削除した事業		提案事業		事業活用調査(事業効果分析調査)									
			事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	新たに追加した事業		基幹事業	高質空間形成施設(カラー舗装)(市道那730号線)			教育委員会や地元からの要望が強く、早期に対応が必要となったため、市単費で整備を行ったため当初計画から削除した。			影響なし				
			提案事業	-										
交付期間の変更		当初変更	平成27年度～令和元年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期		
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	新那加駅の利用者数	人/日	3,262	H25	3,400	R1	-	3,154	△			あり なし	令和3年度
	指標2	バリアフリー化に対する満足度	%	37.8	H26	48.0	R1	-	59.8	○			あり なし	-
指標3	歩道整備に対する満足度	%	37.8	H26	48.0	R1	-	37.2	△	あり なし	-			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1		JR那加駅利用者数	人	2,219	H25	/		2,561	/	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期		
	その他の数値指標2		事業目的の達成度	%	-	-	/		68.0	/				
	その他の数値指標3		バリアフリーと歩行環境が良くなったと思う割合	%	-	-	/		79.8	/				
	その他の数値指標4		地区内の交通事故件数	件	11	H27	/		6	/				
4)定性的な効果発現状況	令和2年度に実施した住民アンケートでは、エレベーター設置について「高齢者や障がい者にとって良かった」「利便性が向上した」、カラー舗装について「安全性・利便性が向上した」、トイレが「整備されて良かった」等の声があり、整備の一定の効果が見える。													
5)実施過程の評価	モニタリング		実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
			なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			
	住民参加プロセス		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			
持続的なまちづくり体制の構築		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				

様式2-2 地区の概要

新那加駅周辺地区(岐阜県各務原市) 都市再生整備計画事業の成果概要							
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値
大目標:各務原市の西の都市拠点整備 目標1:誰もが利用しやすいバリアフリーに配慮した拠点を整備する。 目標2:駅とその周辺を一体的に整備することで交通結節点としての機能向上を図る。 目標3:駅周辺施設を利用する歩行者の安全性を確保する。	新那加駅の利用者数	単位:人/日	3,262	H25	3,400	R1	3,154 R1
	バリアフリー化に対する満足度	単位:%	37.8	H26	48.0	R1	59.8 R2
	歩道整備に対する満足度	単位:%	37.8	H26	48.0	R1	37.2 R2
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <p>■基幹事業 高質空間形成施設(歩行支援) エレベーター設置 N=2基</p>  <p>○関連事業 エレベーター設置事業 N=2基 (名古屋鉄道(株))</p>  </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 基幹事業 提案事業 関連事業  <p>○関連事業 新那加駅周辺地区 バリアフリー基本構想策定</p> <p>□提案事業 事業活用調査 事業効果分析調査</p> <p>■基幹事業 高質空間形成施設(歩行支援) トイレ設置 N=1箇所</p>  <p>■基幹事業 高質空間形成施設(カラー舗装) 市道那472号線整備 L=220m</p>  </div> <div style="width: 25%;"> <p>■基幹事業 高質空間形成施設(ブロック舗装) 市道那468号線整備 L=250m</p>  </div> </div>							
まちの課題の変化	<p>○達成されたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下自由通路及び、名鉄新那加駅構内のエレベーターの整備により、地上から地下改札への移動経路のバリアフリー化が推進されたことで誰もが移動しやすい拠点が整備されたとともに、南北の往來を促進することができた。 名古屋鉄道により駅構内からホームへのエレベーターが整備され、駅利用者の更なる利便性の向上が図られた。 駅周辺の歩道整備及びトイレの設置により、駅周辺施設を利用する歩行者の安全で快適な歩行空間の整備が進められ、交通結節点としての一定の機能と利便性の向上が図られた。 地下自由通路の利便性の向上及び歩道整備により、通学児童や生徒の通学路としての安全性の一定の向上がみられた。 <p>●残された課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 更なる歩行空間の向上を図るため、踏切周辺の道路整備や、防犯上必要な照明の設置が求められる。 地区内の道路には、歩道の幅員が狭く、すれ違い困難な箇所が残されていることから、駅や周辺施設をつなぐ道路について、安全で快適な移動経路の確保及び、通学児童や生徒の安全を確保するための更なる交通安全対策が求められる。 地下自由通路が安全な通学路として機能していることから、緊急対策踏切に指定される前野踏切を通る通学路の見直し求められる。 <p>●新たな課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 心のバリアフリーの周知や意識の啓発により、障がい者や高齢者等を含む全ての方が快適に利用できる駅を推進することが求められる。 駅利用者の送迎車の待ち場を確保するなど、「西の都市拠点」としての更なる機能性と利便性の向上が求められる。 路上駐車を取り締まりや自動車の走行速度の抑制、交通マナーの啓発など、安全な歩行空間の確保が求められる。 						
	今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが利用しやすいバリアフリーに配慮した拠点整備を実施する。 駅周辺道路を利用する歩行者の安全性の向上を図る。 					